

令和6年度の実施状況分析

応募倍率が低く、就職率が高い分野 「介護・医療・福祉分野」

【委託訓練】令和6年度の応募倍率は75.2%、就職率は80.3%。

【求職者支援訓練】令和6年度の応募倍率は80.2%、就職率は71.7%。

A この分野の応募倍率は両訓練とも他の分野に比べて低く改善の余地があることから、引き続き、「介護・医療・福祉分野」の理解を深めるため、**施設見学会への参加を積極的に勧奨**するとともに訓練コースの内容や効果を踏まえた**受講勧奨の強化**を行う。

応募倍率が高く、就職率が低い分野 「IT分野」「デザイン分野」

【委託訓練】令和6年度の就職率はIT分野で56.0%、デザイン分野で55.7%。応募倍率はIT分野で95.9%、デザイン分野で111.7%と高倍率。

【求職者支援訓練】令和6年度の就職率はIT分野で59.3%、デザイン分野で58.9%。応募倍率はIT分野で93.3%、デザイン分野で169.9%と高倍率。

B 令和7年度に引き続き、**求人ニーズに即した効果的な訓練内容であるかどうかの検討**を行う。

C 就職率向上のため、本人の受講希望だけでなく、職業能力や求職条件等を踏まえた**適切な職業相談、訓練のあっせん**を行う。また、受講希望者の特性や状態に沿った適切な訓練を勧奨できるよう、ハローワーク職員の知識の向上を図る。

D 訓練修了者の就職機会の拡大に資するよう**訓練修了生歓迎求人等の確保**を推進する。

デジタル促進人材の育成

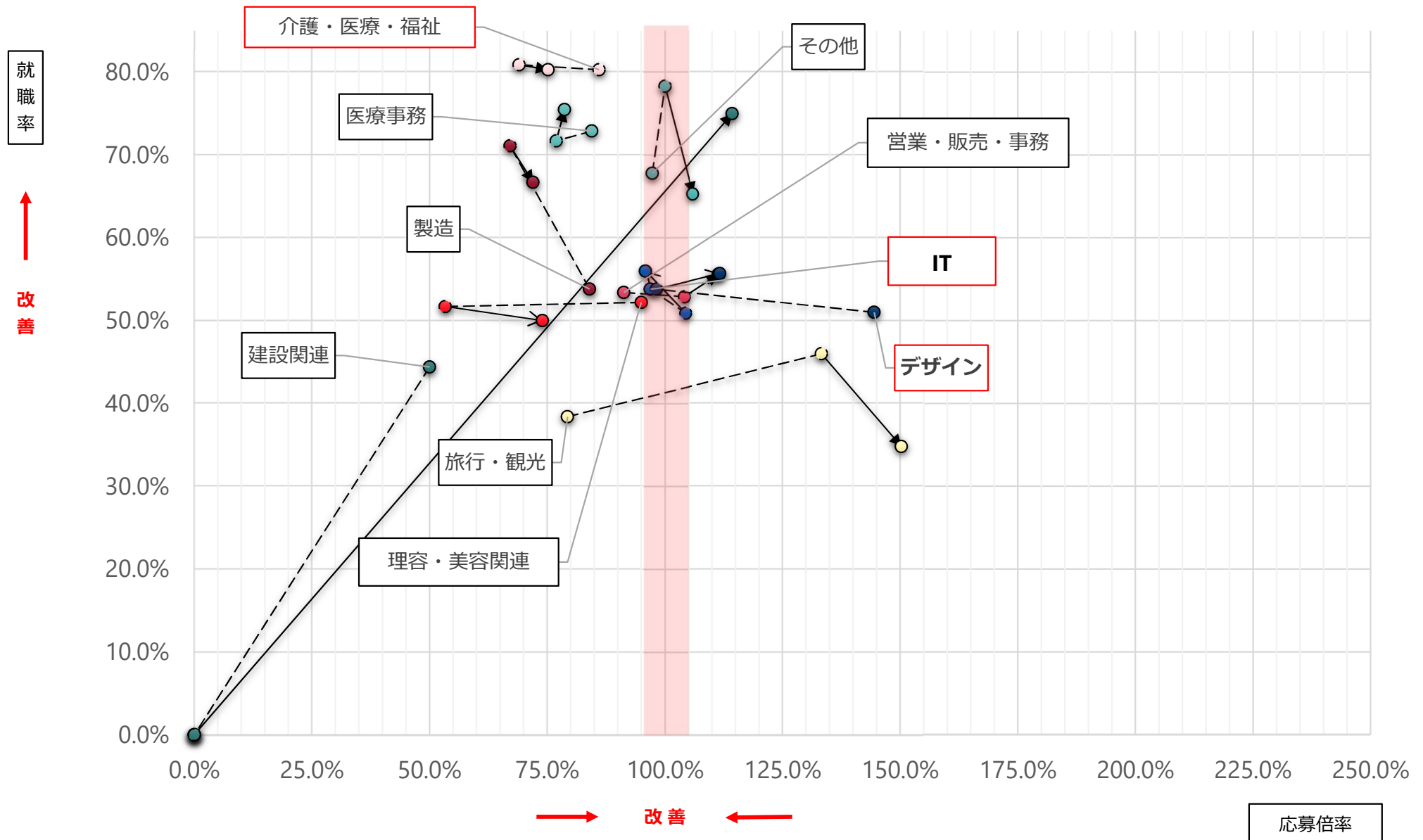
デジタル推進人材の育成に向け、人材ニーズを踏まえた効果的な訓練内容の質的拡充が課題。

E 全ての職業訓練コースにおいて、訓練分野の特性を踏まえてデジタルリテラシーを身につけることができるよう、引き続き訓練の質的拡充を図る。

【参考】公共職業訓練（委託訓練）の応募倍率及び就職率の状況

【委託訓練】

令和4年度 - - - 令和5年度 → 令和6年度

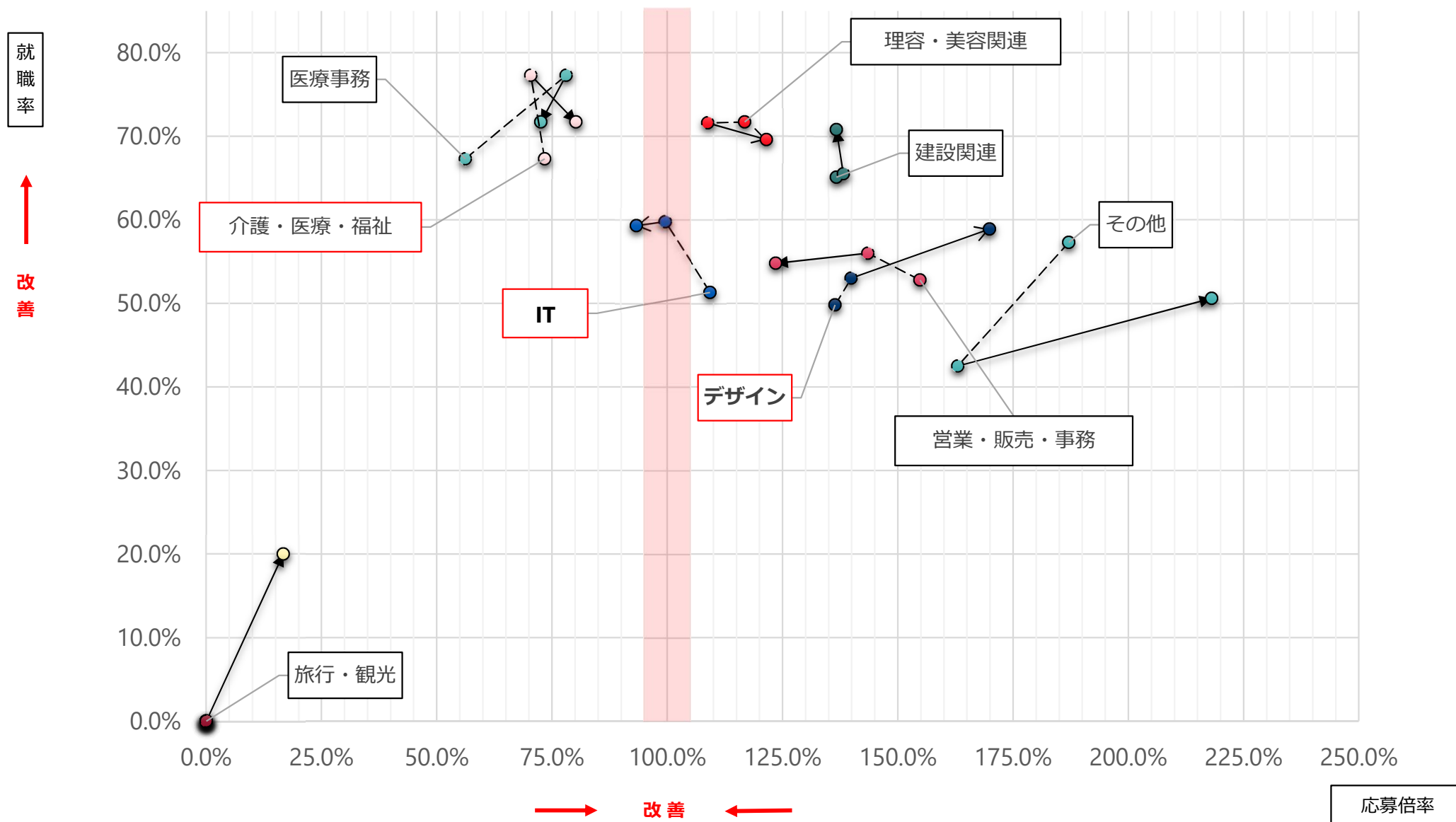


※用語の定義は、資料3と同様。

【参考】求職者支援訓練の応募倍率及び就職率の状況

【求職者支援訓練】

令和4年度 - - - - 令和5年度 → 令和6年度



※用語の定義は、資料3と同様。